
有機 化合物！～アル カンの反応編～

石田杞憂

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

有機 化合物ーゝアル カンの反応編ゝ

【Nコード】

N6827D

【作者名】

石田杞憂

【あらすじ】

メタンのもとに突如現れた塩素。それが意味するものとは。高校生必読の短編。

「俺、メタン。アルカンの一種で、沸点は-161。分子式はC
H₄。

今日は友達のとてうわあ！て、てめえは塩素じゃねえか！」

メタンの前方には塩素が悠然と立っていた。

『やあ、メタンくん、くくく』

そう言いながら塩素はにじり寄る。

「おい、お前、お前を呼んだ覚えはねえ！」

『くくく、そんなこと言うなよ。もうエタンは来ないよ、ボクがくくく』

「て、てめえ、まさか！」

『そう、食べたんだよ、彼をね』

「くつ」

メタンは悔しげに唇を噛んだ。

『アルカンは愚かだねえ、もちろんキミもさ』

「うるせえ、俺は愚かじゃねえ」

『キミは気付かないのかイ？光があることを』

メタンはハッ、と天を見上げる。

そこには、大量の紫外線があるのだった。

「つつ！まずい、紫外線があー！このままじゃ、」

『そう、ボクに置換されてしまうんだよ』

「や、やめろっ！くつ、お、俺の水素があア……！」

塩素の魔の手がメタンに届き、強引に水素をはぎ取った。

「あーくっ！いやあああ」

もうメタンは限界だった。

「く……ははあん！や、そんなとこ、ああん！」

切なげに息を漏らすメタン。一つ、一つ、と塩素に満たされてゆく。

『良い子じゃないか、もつと喘ぐがいい』

「らめえええクロロメタンになっちゃう……はうん！」
『ほらほらほら、テトラクロロメタンになるがいい、くくく』
「塩素があ、塩素がいっぱい入ってくるう……」

そうしてメタンは

テトラクロロメタンになった。

アル カンの反応編 終わり

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6827d/>

有機 化合物！～アル カンの反応編～

2011年1月1日15時01分発行